

IT の観点から見た PDF ソリューションの重要な条件



企業で PDF ソリューションを選択する場合、考慮すべき点が多数あります。ライセンス費用の節約が実感できる点は重要ですが、正しく決断するには、価格だけでなく、見えないコストやビジネスにおいて許容できる妥協点についても比較検討する必要があります。

セキュリティに関する包括的なアプローチ

コストの削減は IT 部門が常に優先する事項ですが、セキュリティを犠牲にすることは許されません。アドビでは、Microsoft Active Protections Program (MAP) に参加するなど、包括的な優れたセキュリティ対策に積極的に投資しています。

アドビが提供するソフトウェアは、アプリケーションセキュリティのための業界のベストプラクティスを使用して開発されています。Acrobat ファミリーでは、JavaScript 実行のきめ細かい制御や、Windows® と Mac OS X の両環境での緊密な連携が可能です。現時点で、システムとデータの保護にサンドボックスセキュリティ技術を利用しているのは、PDF デスクトップソリューションの中でも Adobe Reader® X および Acrobat X Version 10.1 だけです。

データ改ざんのリスクはドキュメントレベルでも存在します。チームが地理的に分散しているケースは珍しくなく、そのようなチームにファイアウォール外のメンバーが含まれる場合もあるため、IT 部門は、共同作業をサポートすると同時に、機密情報に対するリスクを軽減する必要があります。Acrobat X には、基本的なパスワードセキュリティから、Adobe LiveCycle® Rights Management ES2 を使用した高度なドキュメントアクセスコントロールまで、極めて広範なドキュメントセキュリティオプションが用意されています。

展開および管理の簡略化

アドビでは、Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM)、System Center Updates Publisher (SCUP)、グループポリシーオブジェクトと Active Directory、SMS、Apple Package Installer、リモートデスクトップなど、広範な展開戦略をサポートしています。Windows インストーラーは、標準の Microsoft 技術に基づいているため、アドビのインストーラーは、Microsoft と互換性があるほとんどの展開ツールで機能します。さらに、Citrix Presentation Server、XenApp および Windows Terminal Services などの一般的なホスティング環境についてもサポートしています。

アドビでは、Acrobat X を企業に展開する場合のベストプラクティスについて詳細なドキュメントを用意しています。Customization Wizard X や Adobe Administrator's Information Manager (AIM) など、インストーラーやアプリケーションの機能をすばやく構成するための無料ツールを展開前に提供しているのはアドビだけです。

標準への準拠と優れたパフォーマンス

ISO のドキュメント標準に準拠することは重要です。ドキュメントの送信に関する法的要件に準拠していないと、組織が大きな損害を被る可能性があります。例えば、貴重な情報が永久に失われ、二度と回復できなくなる場合があります。Acrobat なら、ユーザーは PDF/A および ISO 32000 などの ISO 規格に準拠したドキュメントを作成し、準拠状況を検証できます。また、場合によっては準拠の不備を修正することも可能です。

アドビでは、PDF フォーマットが継続的に拡大し、将来のニーズにも対応できるよう、ISO 標準の発展に積極的に協力しています。Acrobat や Adobe Reader® と異なり、他社製の PDF ツールでは、ISO の PDF 規格全体を導入するのに何年もかかります。他のツールでは、多くの場合、ドキュメントが適切に表示されない可能性があるという警告はユーザーに通知されません。

世界中の Acrobat ユーザーは、卓越した PDF エクスペリエンスによるメリットを得ています。さらにアドビでは、一貫して下位互換性を提供しています。Wharton School の高度技術シニアディレクター、Kendall Whitehouse 氏は、1990 年代の初めに、学校のドキュメントをすべて Adobe PDF に変更しました。「ほとんどのネイティブアプリケーションファイルは、バージョン間での互換性がありません。しかし驚くべきことに、Adobe PDF ファイルは、1993 年に作成されたものでも、最新バージョンの Acrobat または無料の Adobe Reader で正常に表示されます」と、Whitehouse 氏は述べています。

Acrobat に基づいて標準化を進めると、Adobe PDF ファイル以外のより安価なファイルを使用している場合に発生する相互運用性の問題やフォーマットの整合性の問題を回避できます。このような問題を回避できれば、結果として、ヘルプデスク費用を削減し、生産性低下のリスクを低減できます。

革新、節約、生産性

信頼性とは、単に優れたソフトウェアやサポートを意味するものではありません。アドビは、ナレッジワーカーの重要な懸念事項やニーズに対応することで革新を推進しています。例えば、Acrobat なら、インターネットに接続されているコンピューターの 90% にインストールされている無料の Adobe Reader の機能を拡張することで、余分なコストを一切かけずに組織外部の人員にワークフローを拡大できます。

日本ビクター (JVC) は、Acrobat を使用してドキュメント配信プロセスの自動化と効率化を図りました。PDF に基づくワークフローを採用した JVC とそのサプライヤー 4 社は、紙に関連するコストを排除し、ドキュメントをやり取りするサイクルを最大 75 ~ 95% 削減しました。以前は 4 ~ 20 日かかっていたプロセスが、現在は 1 日に短縮されています。

柔軟なソリューションと広範なサポートのエコシステム

組織では、デスクトップソフトウェアだけではすぐに対応できない特定のニーズや問題が生じる場合があります。Acrobat には、自由に利用できる広範なソフトウェア開発キット (SDK) が用意されており、ソフトウェアと既存のシステムを統合して、より強力なソリューションを作成できます。さらに、市場に出回っている Acrobat ファミリー向けの様々なプラグインを使用すれば、機能を追加することも可能です。また、アドビ認定のトレーナー、デベロッパー、コンサルタント、オンライン学習リソースのネットワークを利用して、確実かつ迅速に成果を得ることができます。

Microsoft SharePoint の有効活用

Microsoft SharePoint を管理された安全なプラットフォームとして拡大することで、SharePoint への投資を最大限に活かすことができます。ユーザーは、ユーザー構成を行うことなく SharePoint で PDF ファイルをチェックインおよびチェックアウトできるだけでなく、SharePoint を利用して、ドキュメントレビューおよびデータ収集のワークフローを強化できます。

電子コンテンツのアクセシビリティ

PDF ファイルはどれも同じとは限りません。これは、聴覚や視覚に障害があるユーザーおよび細かい動作が困難なユーザー向けのアクセシビリティについて特に当てはまります。Acrobat および Adobe Reader では、PDF ドキュメントやフォームを使用する際に必要となるアクセシビリティ機能を強力にサポートしています。Acrobat なら、規格に準拠するドキュメントを作成し、最適化、検証してから、配信することができます。

妥協は不要

パフォーマンスと信頼性に優れ、ただちに成果を得ることができるアドビ製品は、世界中の何百万のユーザーに信頼されています。ライセンス料金は、ソフトウェアの総所有コストに比べ非常に格安です。初めは大きなコスト負担を感じますが、初期段階に節約しても、ソフトウェアの入手や管理に追加費用がかかれば効果が減少します。データおよびシステム保護の水準や投資収益の観点から、どの程度の品質が確保されれば組織にとって十分なのでしょう。アドビを選択すれば、IT 部門は今日の企業スタイルだけでなく、未来のビジネススタイルにも対応できます。



アドビ システムズ 株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎 イーストタワー
www.adobe.com/jp
Adobe Systems Incorporated
345 Park Avenue
San Jose, CA 95110-2704
USA
www.adobe.com

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, LiveCycle, and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Mac OS is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.

91050381 6/11